

I 機関概要

1. 教育機関及び講座名

Veriko Tarunovo University "St. Cyril and St. Methodius"

English, Russian, German and Second language Course

"キリルとメトディ"ヴェリコ・タルノヴォ大学 専攻言語及び第2外国語コース

2. 概要

総合国立大学。学生数約 3000 人、教師数約 400 人。日本語教育は文献学部（外国語学部）の古典・東方言語学科のコースの一つとして 1993 年 10 月より始まり、以後毎年学生を受け入れている。去年の 7 月に初めての卒業生（8 名）が出た。1 期生（卒業生）から 4 期生までは 5 年制（修士号取得）であるが、5 期生より 4 年制（学士号取得）となった。

外国語コースには 1 か国語を学ぶコースと 2 か国語を学ぶ「専攻言語及び第 2 外国語コース」がある。日本語を履修している学生は後者にあたるが、この第 2 外国語というのは日本で一般的に言われているものとは異なる。入学試験はそれまで学習してきた外国語で受験し、入学後の最初の学期（1 年前期）に第 2 外国語を集中して学習し、その後、第 1 外国語と第 2 外国語を平行して学習するというカリキュラムになっている。日本語を履修している学生の第 1 外国語はドイツ語・ロシア語・英語である。

3. 日本語講座講師

(1) ブルガリア人 3 名 常勤講師 2 名（うち 1 名は卒業生）

担当：日本語

文学史・翻訳・通訳

非常勤講師 2 名 担当：文法論

(2) 日本人 4 名（全て青年海外協力隊員）

4. 学生数（1999 年 6 月現在）

	英語専攻		露語専攻		独語専攻		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
1年	5	10	2	6	0	0	23
2年	2	10	2	6	0	0	20
3年	3	9	0	1	0	0	13
4年	3	8	5	5	0	0	21
5年	0	1	0	3	0	1	5
合計	51		30		1		82

※現在 5 年生露語、4 年生英語の学生各 1 名ずつが日本に留学中

II 活動内容、カリキュラム等について

1. 年間授業日程

9月第3月曜日～12月第3土曜日 前期授業 (14週)

1月最終月曜日～2月28日 試験期間

2月第4月曜日～6月第1土曜日 後期授業 (14週) (授業終了後1ヶ月の試験期間、但し日本語は試験なし)

7月第1週中 卒業試験

8月に追試が行われる

2. カリキュラム概要

5年制 (1週間の時間数)

学年	1		2		3		4		5		計
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
日本語	30	10	10	10	8	8	8	8	8	4	104
文法					4	3					7
歴史・文化							4				4
文学史								4	4		8
翻訳・通訳								4	4	4	12
計	30	10	10	10	12	11	12	16	16	8	135

4年制

学年	1		2		3		4		計
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
日本語	30	12	12	12	8	12	12	10	108
文法					4	4			8
歴史・文化				4					4
文学史							4	4	8
翻訳・通訳					2	2	4	4	12
計	30	12	12	16	14	18	20	18	140

3. 使用教科書・教材

1年生 主教材 (前後期) : 「日本語」 (ヴェリコタルノヴォ大学用)

会話 (後期) 「Situational Functional Japanese」

作文 (後期) 「絵入り日本語作文入門」

読解 (後期) 「読解20のテーマ」「4級問題集」「楽しい日本語の読み」

聴解 (後期) 「絵とタスクで学ぶ日本語」「楽しく聞こう」「にほんごきいてはなして」
など

2年生 文法 (前後期) 「項目別問題集Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」

会話 (前期) 「日本語会話中級Ⅰ」

(後期) 「Situational Functional Japanese」 他

作文 (前期) 「日本語作文Ⅰ」

(後期) 日本語作文Ⅰ・Ⅱ

読解 (前後期) 「日本語中級読解入門」、「3級問題集」より抜粋 (精読)

「読みへの挑戦」、「日本語を楽しく読む本初中級」 (速読)

聴解 (前期) 「楽しく聞こう」、「日本語ジャーナル」 (後期) 「毎日の聞き取り (上)」

3年生 文法 (前後期) 日本語中級基礎文法問題集

会話（前後期）「待遇表現」
作文（前後期）「日本語作文の方法」
読解（前後期）「文化中級日本語Ⅱ」
聴解（前期）「毎日の聞き取り（上）」
（後期）「毎日の聞き取り（下）」、「ニュースで学ぶ日本語」

4年生 文法（前期）「日本語総まとめ問題集」（後期）「はじめての専門書」より
会話（前期）「待遇表現」
（後期）「大学生のための日本語」、「こんなとき日本語で」（ビデオ）
作文（前期）「日本語作文Ⅱ」、「実践にほんごの作文」
（後期）「大学生のための日本語」、「実践にほんごの作文」
読解（前期）「現代日本語コース中級Ⅱ」（後期）「はじめての専門書」、「日本語の速読」
聴解（前期）「日本語総まとめ問題集」（後期）「ニュースで学ぶ日本語」

5年生 語彙・表現（前期）「日本語総まとめ問題集」
文法（後期） 「どんなときどう使う日本語表現文型 5000」
視聴覚（前期） 「講義を聞く技術」
読解（前期） 「実例で学ぶ日本語 新聞の読み方」
論文（前後期） 「論文ワークブック」

4. 授業形態

授業はクラス形式で、原則として直説法。

1年生の主教材はブルガリア人講師による導入（ブルガリア語で説明）、その後日本人講師による練習。

2、3年生の文法は前期は日本人講師より日本語で、後期からブルガリア人講師によりブルガリア語で行われた。他は基本的に日本人講師による日本語の授業。

ただし、歴史・文化等専門科目についてはブルガリア人講師によるブルガリア語での授業。

Ⅲ その他

去年の10月に我がコース卒業の一期生が日本語の授業を担当する初の常勤となった。また、来学期よりもう一人、日本語の授業を担当するブルガリア人が増えることとなった。以前からずっと言われてきたことではあるが、協力隊中心ではなく、これから徐々にブルガリア人講師中心のコースになっていくことを望む。